

No.4 チーム医療とSBAR ——多職種連携の言語を持つ

導入

現代医療はチームで行うものだ。医師・看護師・薬剤師・リハビリ職・ソーシャルワーカーが連携しなければ、良い医療は実現しない。しかし面接で「チーム医療の大切さ」を問われたとき、「協力し合うことが大切です」しか言えない受験生がほとんどだ。この講座では、医療現場の標準コミュニケーションプロトコル「SBAR (Situation / Background / Assessment / Recommendation)」と、多職種チームの役割・権限・葛藤の解決法を学び、チーム医療を論述・面接で具体的に語れるようにする。

授業目標

- SBARの4要素を正確に説明し、緊急報告・申し送りの場面で適用できる
- チーム医療の多職種の役割分担と、職種間葛藤・権力勾配の問題を論じられる
- 「患者中心のチーム医療」の概念（IPE・IPW）を使って連携の意義を論証できる
- 面接で「チーム医療において医師の役割は何か」を論理的・具体的に答えられる

授業構成（90分）

時間	内容
0～15分	衝撃体験：SBAR未使用の申し送り場面 vs SBAR使用場面の比較で情報伝達の差を体感
15～40分	SBARの4要素詳解・多職種の役割と権限・職種間の権力勾配問題の解説
40～70分	シナリオ別SBAR実習（急変報告・病棟申し送り・家族への情報共有）
70～90分	面接応用：「チーム医療で医師はどうあるべきか」への論証型回答の組み立て

課題

授業後：「チーム医療において医師がリーダーシップを発揮するとはどういうことか」をSBARとIPWの概念を使って論述（600字）を作成・提出。

備考

医学部対応。チーム医療・多職種連携を重視する大学（地方国立大・地域医療型大学）を志望する受験生に特に推奨。MMI・グループディスカッションにも直結。